

令和6年度 事業所向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

公表日: 令和7年3月1日

株式会社ぱれっと

配布:職員 10名

放課後等デイサービス ぱれっと府中

有効回答:職員 9名

事業所番号: 1353800483

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	0	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	0	さまざまなトラブルが起きたり急用が入ったりすると配置数が足りないと思うことがございます。また、女の子の利用者が多い時もあるので、基本的な配置人員は満たした上で、職員の出勤可能な日と当日の配置数の兼ね合いを見ながら、女性スタッフを含み、なるべく多くの人員配置を心がけてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境	8	1	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	0	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	4	0	目標が明確でなかったり、目標設定と振り返りを行う時間が足りていなかったりしていると感じる職員も半数いるので、事前の打ち合わせや目標の共有などをさらに心がけていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	0	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	0	現状、第三者評価について実施していないため、回答としては「いいえ」が正しいのだが、「はい」に回答しているスタッフがいるということで、周知をもっと徹底していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4	0	虐待防止研修や感染症対策研修などの基本的な研修は実施しているが、それ以上の職員の資質向上を図る研修を受講する機会や、法人内等で研修を開催する機会が少ないことが課題。オンラインでの療育講座の契約を検討しており、契約次第、職員に実施していきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	0	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を	9	0	0	

## 適切な支援の提供

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	0	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用	9	0	0	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移	9	0	0	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	0	活動プログラムについて、非常勤職員によっては出勤時間・退勤時間が異なることから、なかなか立案から参加していただくことが難しいこともある。事前に色々と計画を立て、時間を見ながらプログラムの立案や検討を一緒に実施していきたい。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	0	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	0	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	0	職員の勤務時間がバラバラであることから、なかなか一律に全員で事前の打ち合わせを行うことができないため、その都度、子ども達の様子を見ながら個別に打ち合わせを実施している。ただ、送迎や時間的制約などの兼ね合いで事前の打ち合わせができないこともあるため、イレギュラーを除き、前もって計画的に打ち合わせを実施していきたい。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	0	その日の支援の振り返りについて基本的には実施しているものの、非常勤職員の退勤時間と送迎が終わって事業所に戻って来る時間が異なるため、その日に勤務した職員全員で必ず打ち合わせをするということが難しい状況にある。その代案として、引き継ぎノートなどを上手に利用しながら、情報共有している。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	0	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	0	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	0	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	0	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	0	サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者が出席している。ただ、今後は該当の子どものよく知るスタッフの参加も促し、状況や子どもの理解を深める一助となっていきたい。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	0	各関係機関と連携して支援を行う体制を整えているものの、基本的に管理者や常勤職員が対応しているため、非常勤職員にまで情報が行き届いていないことがある。実施した際には、職員全員に周知し情報共有していきたい。

関係機関や保護者との連携

28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	0	0	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	0	就学前に利用していた園や児童発達支援事業所等との間で、必要に応じて連絡を取り合い情報共有しているものの、定期的な情報共有には至っていない。今後、交流を深め、連携を強化しながら相互理解に努めていきたい。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	0	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する（した）子がいいため、情報提供等は実施していない。ただ、その準備をしているため、「はい」につけた職員が多いたと推測される。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5	0	地域の児童発達支援センターとの連携を図っているものの、スーパーバイズや助言や研修などを受ける機会がないため、連携を強化しながら今後の課題として取り組んでいきたい。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	0	公園遊びの際に、地元子ども達と一緒に遊ぶこともあるが、子ども同士の放課後児童クラブや児童館との交流する機会はまだない状態。放課後児童クラブや児童館のスタッフと、ぱれっと府中のスタッフが交流する機会（会議）はあるので、そこで交流を深め、今後の展開を進めていきたい。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	1	自立支援協議会等を開催しているのは知っているものの、参加方法が不明であることもあり、積極的な参加はできていない。情報収集しながら、参加の機会を見つけていきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	0	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	0	モニタリングにおいて、保護者からの相談に応じているものの、ペアレントトレーニングなどの明確な形での支援は未実施である。また、家族等が参加できる研修の機会や情報提供等についても、随時、実施していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	0	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	0	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	0	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	0	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	0	父母の会や保護者会等について、保護者の皆さまからの強いニーズが掴み切れていないため、まだ未実施の状態である。保護者同士で交流する機会等、さらにニーズを把握しながら、必要に応じて取り組んでいきたい。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	0	

保護者への説明責

任 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	0	地域の読み聞かせボランティアを受け入れているが、さらに地域に開かれた事業運営としては不十分なので、どのように地域に開かれた事業所として展開していくか、詳細をよく考え今後の取り組みをしていきたい。
非 常 時 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	0	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	0	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	0		